

教育署名



せんせい ふやそう!
どの学校も少人数学級に!
教育無償化!

どの子も安心して楽しく学べる学校に

全国で深刻な教職員不足!
~教職員的大幅増員を!~

「担任が着任しない間、子どもたちは落ち着きがなく、情緒不安定になる子、不登校になる子もいた(小学校)」 「3年担任が病休、生徒たちは担任交代により不安感があった。授業が遅れ、偏りのある時間割になったため不満が出た(中学校)」 など、教職員未配置は子どもたちに不安や不利益を与えています。「熱心な20代が精神疾患になる、退職して現場を去っていく(中学校)」 「週に29コマ授業せざるを得ない。鉄人、超人じゃないとできない職に(小学校)」 など、教職員も限界を迎えています。解決には、余裕を生む教職員数への増と予算確保です。



声をあげれば変えられる!

~どの学校・学年でも、少人数学級と教育無償化をすすめよう~

全国各地で声をあげ、国の責任による学校給食無償化、小学校で前進しました。高校授業料無償化も、所得制限なく給付が行われるようになり、前進しています。しかし、国際人権規約で国際公約としている、高等教育までの教育無償化へは道半ばです。

お金の心配をしないで学校に通えるよう、教育の無償化を! みんなの願いをあつめて、1つ1つ実現させ、みんなのえがおを増やしていきましょう!

■ 私たちの願いに必要なお金

それだけ足しても
対GDP比0.8%程度
(2025年度名目GDP)

(2023年日本平和大会パンフレット、「ゆとりのある教育を求め全国の教育条件を調べる会」推計、三輪定宣著「無償教育と国際人権規約」、2026年度文科省予算などから試算)



教育予算をOECD諸国平均並みに!

日本の教育予算が国内総生産(GDP)に占める割合は、OECD諸国の中で最低レベルです。

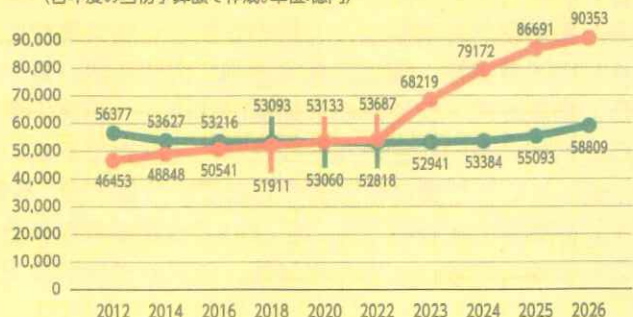
防衛予算を増やすよりも教育予算をひき上げて、すべての子どもの「教育への権利」を保障してください。

■ 日本の教育予算は、OECD諸国の最低レベル



(出典:OECD「図表で見る教育」2025年度版より)

■ 文科省予算と防衛予算の推移
(各年度の当初予算額で作成。単位:億円)



少人数学級の実現! せんせいふやそう!

日本の小・中学校のクラスサイズはOECD諸国でトップクラスに大きい状態です。OECD平均並みの少人数学級が実現できたら、子どもたちにゆきとどいた教育が実現できます。さらに、教職員も増えることで、平均で1.58人分働いている仕事量を適正化できる可能性も生まれます。

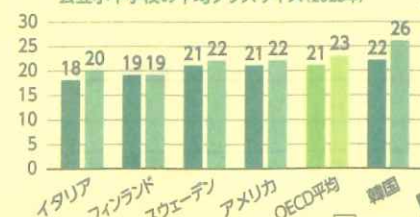
せんせいふやして世界基準のクラスサイズと、時間外労働解消を実現しましょう!

■ 平均で1.58人分働いている日本の教職員

教職員の平均時間外労働(持ち帰り含む)	
	教諭・助教諭・調師等
平日	2時間22分
土曜	3時間16分
日曜	2時間17分
4週間	89時間45分
1か月	96時間10分

全教職務実態調査2022より

■ こんなに大きい、日本の学校のクラスサイズ

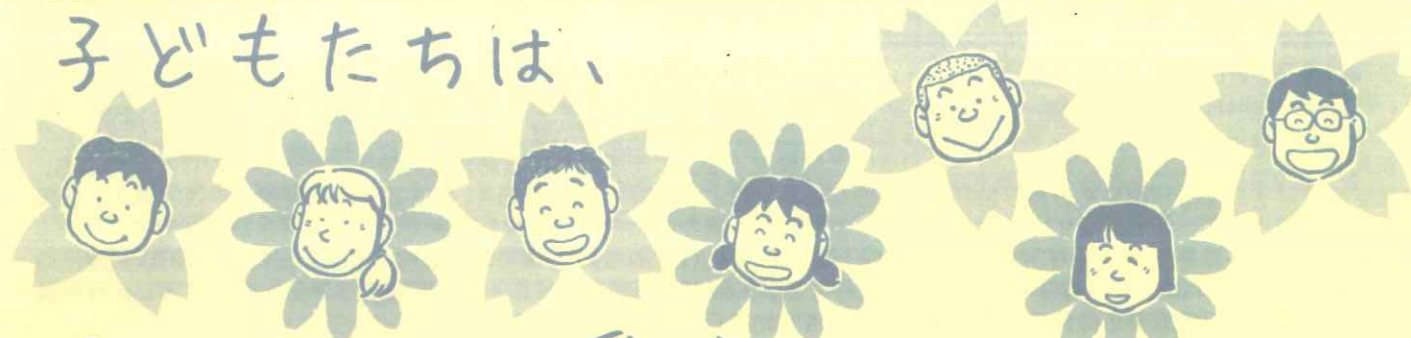


(出典:OECD「図表で見る教育」2025年度版より)

国や県の教育予算を増やして 教育費の父母負担を軽減しよう!

2026年度ゆきとどいた教育をすすめる会「教育全国署名」

子どもたちは、



手をかけて、愛情そそいで、
みんなで育てましょう!

集めようみんなの願い、届けよう国・県へ

- クラスの子どもたちと、もっとじっくり向き合いたい!
ぜったい30人学級が必要・特別支援学級は6人以下に
- 国は他の先進国なみにもっと教育にお金をかけて!
- 保護者負担には限界がある。
必要とするすべての高校生・大学生に対する返済不要の奨学金制度を
- 給食費は無料(公費負担)にして
- 卒業アルバムが買えない、修学旅行に行けない、
そんな悲しい思いをさせないで
- お金の心配なく、近くの私立高校に進学したい
- 先生の未配置がおこらないようにしてほしい



- イジメのSOSを見逃してはいけない!
やっぱり少人数学級
- 定時制高校を無くさないで!
- 高校授業料・学費の完全無償化を!

国の責任による「20 人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！
2026 年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

I 請願趣旨

日本の教育環境は他国と比べても十分とは言えません。小学校の 35 人以下学級が 2025 年度に完成し、中学校の 35 人以下学級の段階的な導入が 2026 年度から始まりましたが、OECD 平均である 20 人程度の学級に比べ、日本の平均は小学校で 27 人、中学校で 32 人と、学級規模が大きすぎます。高等教育における私費負担割合も OECD 平均の 2.1 倍です。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、教育無償化の実現や 20 人学級を展望した少人数学級のさらなる前進が求められます。専門的な業務を担う様々な教職員の増員等の、ゆきとどいた教育条件整備が必要です。

学校現場では教職員の未配置が起きています。新年度の 4 月に教職員が足りず、担任が配置できない学校が各地で出ています。教職員の負担軽減をすすめるとともに、正規の教職員を増員することが求められています。あわせて、私立高校等経常費助成補助を大幅増額し、私学でも専任の教職員を増員できる条件整備が必要です。

教育を受けることは基本的人権であり、教育無償化は重要です。大学等の高等教育までの教育無償化を実現するためにも、高等学校等就学支援金制度や給付奨学金制度のさらなる拡充など、国際人権 A 規約 13 条 2 項「無償教育の漸進的導入」を具体化させるべきです。給食無償化は、給食の安全性を確保し、豊かな給食や食教育を実現できる予算確保が必要です。

日本の「公財政教育支出の対 GDP 比（2022 年）」は 2.86%と OECD 諸国の中で最低レベルです。これを OECD 諸国平均 3.96%まで引き上げれば、小・中学校、高校までさらなる少人数学級の前進、公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能となります。

憲法と子どもの権利条約が生きて、一人ひとりがかがやく学校づくりをすすめるために、そして「すべての子どもたちに、学習する権利、発達する権利を保障する教育」としてのインクルーシブ教育の実現のため、国の責任でゆきとどいた教育を実現する教育条件整備が行われるよう、以下、請願します。

II 請願項目

1. 教育予算を OECD 諸国並みに計画的に増やしてください。
2. 義務・高校標準法を改正し、国の責任で、中学校、高校での 35 人以下学級を早期に実現してください。全ての校種で少人数学級をさらに前進させてください。幼稚園や特別支援学級・学校等の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
3. 有期雇用ではなく、正規・専任の教職員を増員してください。
4. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - （1）高校・大学等の学費無償化や高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - （2）私学経常費助成補助の増額と高等学校等就学支援金を授業料以外へも支給対象を拡げるなどにより、学費負担の公私間格差をなくしてください。
 - （3）給食無償化を実現し、安全安心で豊かな給食を提供できるよう、自治体への財政支援をすすめてください。
 - （4）教育活動に必要な費用への保護者負担が発生しないよう公費の補助を拡充してください。
 - （5）通学費が発生している児童・生徒への補助を行ってください。
5. 公立・私学ともに安全安心な環境のもとで学ぶことができるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - （1）特別支援学校の過大・過密や教室不足の解消のため、国による財政支援の拡充、学校新設や既存校への「特別支援学校設置基準」の確実な適用をすすめてください。
 - （2）学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。
6. 能登半島地震や東日本大震災などの自然災害、東京電力福島第一原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興を継続してすすめてください。

氏 名（フルネームで）	住 所（〇〇県△△市□□町 1 丁目 2-3 ← 番地までお書きください）
	群馬県
	群馬県
	群馬県
	群馬県
	群馬県

※名前（姓）や住所を「 〃 」「同上」のように省略せずに記入してください ※上記個人情報は、国会へ提出する以外に使用しません
ゆきとどいた教育をすすめる会 〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館 3F TEL：03-5211-0123

教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちに
ゆきとどいた教育をすすめるための 請願署名

群馬県議会議長 様

I 請願趣旨

私たちは、一人ひとりの子どもたちにゆきとどいた教育が保障され、すべての児童・生徒が生き生きと楽しい学校生活を送ることを願っています。そのためには、画一的な ICT の強要ではなく、教育格差をなくし、小・中・高すべての学級での 30 人以下学級実現や、教育費の無償化、父母負担の軽減などに向けた教育条件を整備することが何よりも重要だと考えます。また、欠員が実質的には補充されない教職員の未配置が引き続き深刻です。教職員の多忙化と配置不足は子どもたちの学習権の侵害であり、緊急で抜本的な対策が求められます。

日本の「教育機関への公財政支出の対 GDP 比（2021 年度）」は 2.90%で、OECD 諸国の中で引き続き最低水準です。OECD 諸国平均の 4.15%程度まで引き上げれば、小・中・高校の 30 人以下学級の実現のみならず、一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するための教育条件整備と、公立・私立ともに就学前から大学まで教育の無償化をすすめることが可能となります。

教育の機会均等を保障するため、国や行政が責任をもって教育条件整備をすすめることはきわめて重要なことです。群馬県としてもゆきとどいた教育を実現するため、教育予算の増額等、さらなる努力をお願いします。

子どもたちの笑顔が輝き、憲法と子どもの権利条約が生きる学校をつくるため、以下のことを請願します。

II 請願事項

1. 小・中学校、高校の少人数学級の実現をすすめてください。
 - （1）小・中学校・高校のすべての学年で 30 人以下学級を実現するよう国に求めてください。
 - （2）県の教育予算を増額し、県独自の少人数学級をすすめてください。
 - （3）特別支援学級の 1 クラスの子ども数を減らしてください。
2. お金の心配なく子どもたちが安心して学べるよう、県の教育予算を増やし、保護者負担を軽減してください。
 - （1）義務教育費国庫負担金の負担率を 3 分の 1 から 2 分の 1 に戻すよう国に求めてください。
 - （2）申請主義ではない権利としての高校授業料無償化を国に求めてください。
 - （3）私学助成を増額し、お金の心配なく私立高校に進学できるようにしてください。
 - （4）小・中学校、高校の教育活動に必要な教材費や学校納付金を無償にしてください。
 - （5）地産地消・安全安心な給食の提供と、給食の無償化を実現してください。
 - （6）地域の高校や定時制高校をなくさないで下さい。
3. 子どもたちが豊かな環境のもとで学べるよう、教職員を増やし、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - （1）教職員の未配置がおこらないよう正規教職員を大幅に増やすなど、抜本的な対策を講じてください。
 - （2）学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。

氏 名（フルネームで）	住 所（〇〇県△△市□□町 1 丁目 2-3 ← 番地までお書きください）
	群馬県
	群馬県
	群馬県
	群馬県
	群馬県

※ この署名簿は、個人情報保護法に基づき、署名提出の目的以外には使用しません。

国会あて（左）・県議会あて（右）両方に同じ名前をご署名ください